

エコアクション21

環境経営レポート



 米善機工株式会社

運用期間：2024年2月～2025年1月

作成：2025年4月 10日

ご挨拶

米善機工株式会社は、1946年（昭和21年）の創業以来、半世紀以上にわたり躍進してまいりました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

世界の最先端を行く日本のモノづくりは、日本のリーディング産業です。その優れた技術力を生かした高品質、安全なモノづくりが人々の暮らしを豊かにし、地球環境問題や資源、エネルギー問題の克服に貢献していくことを期待されています。

米善機工は、モノづくり産業の現場をサポートする機械工具商社として、熊本のモノづくりの発展に、なくてはならない存在であると自負しています。

今後益々多様化する顧客ニーズに的確に対応するため、従来の機械工具販売を核として、設計から設置工事、メンテナンスまでをトータルサポートする、エンジニアリング商社への飛躍を目指しております。

これからも最新の情報や新商品、サービスをタイムリーにご提供することで、お客様、ひいては地域社会の発展に貢献できるよう、たゆまぬ努力を続けてまいります。

【基本理念】 誇り高き企業体の建設

【経営理念】 四方善し経営

1. 私たちは、顧客ニーズに合った商品と誠実なサービスで、顧客に信頼される会社を創ります
1. 私たちは、時代の変化に的確に対応し、永続繁栄する会社を創ります
1. 私たちは、社員一人ひとりが創造性を発揮する、夢と誇りのある会社を創ります
1. 私たちは、健全かつ公正な経営を貫き、社会の発展に貢献する会社を創ります

米善機工株式会社
代表取締役 高橋不二夫

1. 事業概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所 : 米善機工株式会社
代表者 : 代表取締役 高橋不二夫
所在地 : (本社) 熊本県熊本市中央区十禅寺1-4-80
: (熊本東支店) 熊本県熊本市東区御領6-3-85
: (有明支店) 熊本県荒尾市菰屋101-1

2) 環境管理の責任者及び担当者連絡先

環境責任者 : 吉村二郎
連絡担当者 : 吉村二郎
連絡先 : TEL / 096-353-4131 FAX / 096-353-4138
MAIL / j_yoshimura@yonezen.co.jp

3) 事業内容

エンジニアリング事業、検査校正事業
工作機械、機械器具、産業機器、省力機器の販売

機械器具設置工事業については、工事元受として受注し、
実際の工事については下請けで行っている。

4) 事業の規模

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
資本金	百万円	36	36	36
売上高	百万円	5,888	6,612	5,297
従業員 (本社)	人	47	54	34
従業員 (熊本東支店)				27
従業員 (有明支店)	人	16	16	15
計	人	63	70	76
敷地面積 (本社)	m ²	2,936	2,936	2,936
敷地面積 (熊本東支店)	m ²			2,599
敷地面積 (有明支店)	m ²	2,531	2,531	2,531
計	m ²	5,467	5,467	8,066
建物面積 (本社)	m ²	1,035	1,035	1,035
建物面積 (熊本東支店)	m ²			1,298
建物面積 (有明支店)	m ²	447	447	447
計	m ²	1,482	1,482	2,780

5) 環境年度

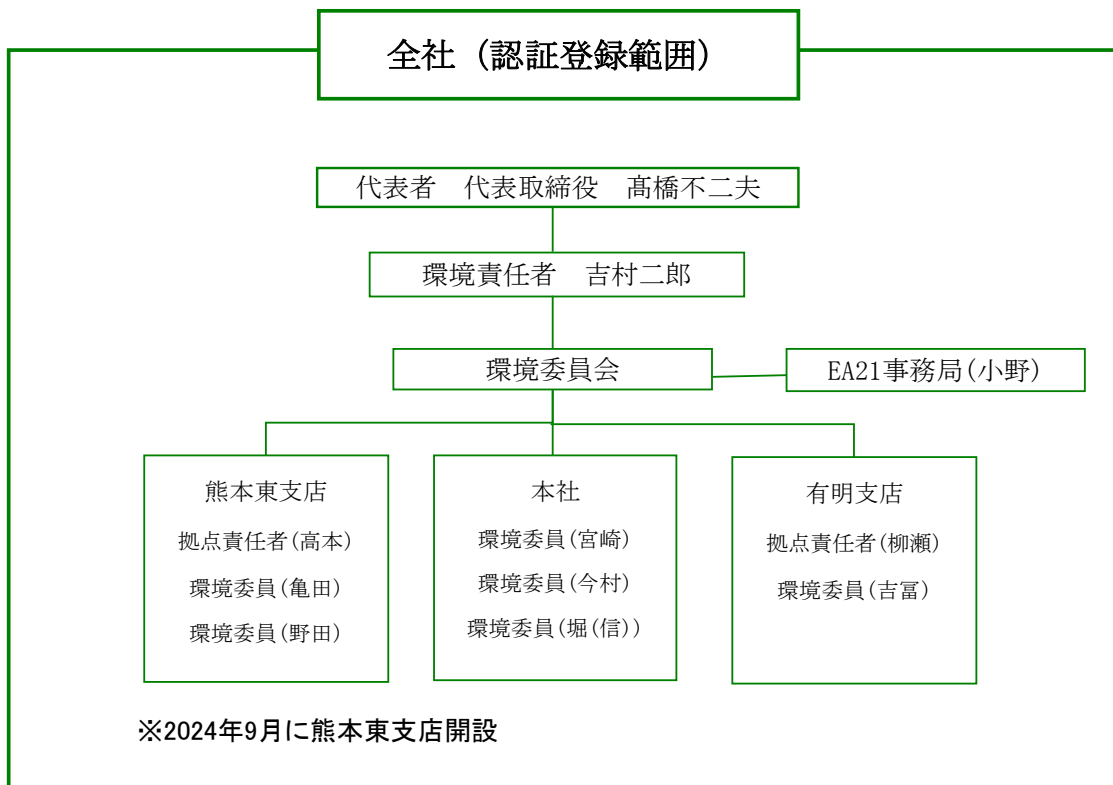
期首 : 2月 期末 : 1月

6) 認証範囲

全組織・全活動

2. 取組体制

【環境組織図】



【役割、責任と権限】

担当者	役割、責任と権限
【代表者】	1、代表者として、EA21環境マネジメントシステムを統括する 2、環境管理者をはじめ必要な責任者を任命する 3、EA21の構築、運用、維持に必要な経営資源を準備する 4、環境経営方針の制定 5、EA21全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する
【環境責任者】	1、運用責任者としてEA21環境マネジメントシステムを運用する 2、経営資源の効果的な運用を図り、環境委員会を運営する
【環境委員会】	1、EA21に関する運用全般を所管する 2、代表者、環境責任者、環境委員、事務局で委員を構成し 環境責任者主催で月1回開催する
【事務局】	1、EA21に関する事務全般を所管する 2、環境責任者を補佐し、EA21に関する事務を遂行する
【実行責任者】 環境責任者 環境委員	1、目標に対する実績の把握をする 2、問題点の抽出、原因の追求、対策の立案をする 3、テーマに対する社員への啓蒙をする
【社員の役割】	1、環境方針を達成するための具体的な環境活動を実施する 2、環境経営方針、環境経営目標及び環境経営活動を理解する 3、環境活動を全社員の創意、工夫により実施する 4、改善のための提案を行う

3. 環境経営方針

【環境理念】

当社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題のひとつであることを認識して「あらゆる事業活動において環境に配慮し、地球環境の保全に寄与する」ことを基本理念として活動します

【基本方針】

当社は、事業活動、商品、サービスに関わる環境影響を常に認識し、環境理念にもとづき社員全員で「PDCAサイクル」を回し、環境負荷の軽減に取り組みます

【行動指針】

1. 事業活動を通じて常に環境への配慮を行ない、地球環境の改善に努力するため、環境経営システムを構築し、継続的改善に取り組みます
2. 環境関連法令及びその他の要求事項を遵守し、環境保全に取り組みます
3. 当社の事業活動が環境に与える影響を理解し、可能な範囲で環境経営目標を定めて実行し、汚染の予防に努めます
4. 当社の環境経営方針を達成するために、下記の項目に積極的に取り組みます
 - ・電気、燃料の消費量を低減し、二酸化炭素の排出量の削減に努めます
 - ・ゴミの分別を徹底して、廃棄物排出量の削減に努めます
 - ・排水量を削減し、貴重な水資源を有効に使用します
 - ・化学物質商品を適切に管理します(化学物質管理方針は別に定めます)
 - ・環境に配慮した省エネ商品の提案販売を通して社会に貢献します
 - ・会社敷地、周辺の植栽、清掃を全社員参加で定期的を実施して、役職員全員の環境に対する意識の向上を行ないます
 - ・この環境経営方針は、全社員に周知、徹底するとともに、取り組みの結果を環境レポートとして公表します
 - ・地域社会の皆様との環境コミュニケーションに積極的に取り組みます

【化学物質管理方針】

当社は、次のとおり化学物質管理に取り組むことを宣言します。

1. 当社は、化学物質管理に関する法令等を遵守します
2. 当社は、船用製品の販売にあたり、部品又は原材料の化学物質情報を調達先から確実に入手します
3. 当社は、化学物質の管理を厳格に行うとともに、継続的に改善します
4. 当社は、本方針を役職員全員に周知します

制定：2010年3月1日

改訂：2019年4月1日

米善機工株式会社

代表取締役 高橋不二夫

4. 環境経営目標と実績

区分	項目	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度			2025年度	2026年度
		実績	実績	実績	目標	実績	達成率	目標	目標
二酸化炭素 排出量	総排出量の削減 (kg-CO2)	196,417	203,989	194,140	192,199	212,491	90%	210,366	227,275
	電力の削減 (kg-CO2)	38,208	42,779	38,052	37,671	55,642	68%	55,086	72,175
	ガソリンの削減 (kg-CO2)	112,575	114,891	106,528	105,463	109,639	96%	108,542	108,198
	軽油の削減 (kg-CO2)	45,529	46,234	49,487	48,992	47,182	104%	46,710	46,870
	液化石油ガスの削減 (kg-CO2)	104	86	73	73	28	263%	27	33
廃棄物排出量	一般廃物・産業廃棄物 リサイクルの向上 (kg)	14,760	15,749	11,013	10,903	14,711	74%	14,564	14,113
水使用量	水使用量の削減 (m ³)	374	353	310	307	869	35%	860	383
化学物質 (商品)	厳格な管理	実施済み	実施済み	実施済み	法規制遵守 適切な管理	実施済み	100%	法規制遵守 適切な管理	法規制遵守 適切な管理
化学物質 (船用製品)	シグナチャー条約に 基づく厳格な管理	実施済み	実施済み	実施済み	MDの入手と SDoCの作成	実施済み	100%	MDの入手と SDoCの作成	MDの入手と SDoCの作成
環境に優しい 商品の提案販売	環境に優しい 商品の提案・販売	実施済み	実施済み	実施済み	キャンペーン 実施：1回	実施済み	100%	キャンペーン 実施：1回	キャンペーン 実施：1回
生物多様性	会社敷地を定期的に 清掃・植栽	実施済み	実施済み	実施済み	全社員参加 12回	実施済み	100%	全社員参加 12回	全社員参加 12回
4S活動	室内、商品倉庫の 4S活動推進	実施済み	実施済み	実施済み	全社員参加 12回	実施済み	100%	全社員参加 12回	全社員参加 12回

※目標数値 = 前年実績 * 99%

※CO2排出係数 (2016年度) …電気 (HTBエナジー公表) 0.507 ガソリン (環境省公表) 2.32 軽油 (環境省公表) 2.58
液化石油ガス (日本LPG協会公表) 3.00 を使用

※2024年9月24日付で「熊本東支店」開設

■ 拠点別環境負荷実績

	項目	2021年	2022年	2023度	2024年度			
		実績	実績	実績	目標	実績	達成率	
本社	二酸化炭素排出量	総排出量(kg-CO2)	144,003	148,915	144,021	142,581	127,687	112%
		消費電力(kg-CO2)	24,481	28,523	24,746	24,499	25,273	97%
		消費電力(kWh)	48,286	56,259	48,809	48,321	49,848	97%
		ガソリン(kg-CO2)	87,534	87,363	82,990	82,160	71,603	115%
		ガソリン(L)	37,730	37,657	35,771	35,413	30,864	115%
		軽油(kg-CO2)	31,885	32,942	36,212	35,850	30,786	116%
		軽油(L)	12,359	12,768	14,036	13,895	11,933	116%
		液化石油ガス(kg-CO2)	103	86	73	73	25	293%
	液化石油ガス(kg)	34	29	24	24	8	289%	
	水使用量	水使用量(m ³)	294	274	240	238	372	64%
熊本東支店 2024年9月 開設	二酸化炭素排出量	総排出量(kg-CO2)	—	—	—	—	39,700	0%
		消費電力(kg-CO2)	—	—	—	—	17,273	—
		消費電力(kWh)	—	—	—	—	34,069	—
		ガソリン(kg-CO2)	—	—	—	—	15,142	—
		ガソリン(L)	—	—	—	—	6,527	—
		軽油(kg-CO2)	—	—	—	—	7,284	—
		軽油(L)	—	—	—	—	2,823	—
	液化石油ガス(kg-CO2)	0	0	0	0	0	#DIV/0!	
液化石油ガス(kg)	0	0	0	0	0	#DIV/0!		
水使用量	水使用量(m ³)					432	0%	
有明支店	二酸化炭素排出量	総排出量(kg-CO2)	52,413	55,074	50,119	49,617	45,104	110%
		消費電力(kg-CO2)	13,727	14,255	13,306	13,173	13,096	101%
		消費電力(kWh)	27,075	28,117	26,244	25,982	25,831	101%
		ガソリン(kg-CO2)	25,041	27,527	23,539	23,303	22,893	102%
		ガソリン(L)	10,794	11,865	10,146	10,044	9,868	102%
		軽油(kg-CO2)	13,644	13,292	13,274	13,142	9,112	144%
		軽油(L)	5,288	5,152	5,145	5,094	3,532	144%
		液化石油ガス(kg-CO2)	1	0	0	0	3	0%
	液化石油ガス(kg)	0	0	0	0	1	0%	
水使用量	水使用量(m ³)	80	79	70	69	65	107%	
全社合計	二酸化炭素排出量	総排出量(kg-CO2)	196,417	203,989	194,140	192,199	212,491	90%
		消費電力(kg-CO2)	38,208	42,779	38,052	37,672	55,642	68%
		消費電力(kWh)	75,361	84,376	75,053	74,303	109,748	68%
		ガソリン(kg-CO2)	112,575	114,891	106,528	105,463	109,639	96%
		ガソリン(L)	48,524	49,522	45,917	45,457	47,258	96%
		軽油(kg-CO2)	45,529	46,234	49,487	48,992	47,182	104%
		軽油(L)	17,647	17,920	19,181	18,989	18,288	104%
		液化石油ガス(kg-CO2)	104	86	73	73	28	264%
	液化石油ガス(kg)	35	29	24	24	9	261%	
	廃棄物実績	排出量(kg)	14,760	15,749	11,013	10,903	14,711	74%
水使用量	水使用量(m ³)	374	353	310	307	869	35%	

※2024年9月24日付けで「熊本東支店」開設

5. 環境経営活動計画

5-1 2024年度 環境経営計画と評価

項目	責任者	具体的な活動	活動頻度	評価	
				本社	有明
省エネ (電気) (LPガス)	亀田 小野 吉富	・営業終了目標時刻の設定(19時45分)継続	毎日	○	○
		・カーペット・ウオームビズ着用でエアコンの設定温度を低めに設定28℃&20℃	毎日	○	○
		・毎週水曜日 定時終業日(最遅18時30分)	1回/週	○	○
		・エアコン・電灯をお昼休み始まり次第すぐに消す	毎日	○	○
		・夏場、社屋全面へのよしずシート張りによる室温下げ	夏季	○	-
		・営業担当者パソコンの出動時電源OFF	毎日	○	○
省資源 (ガソリン) (軽油)	宮崎 南 吉富	・アイドリングストップの励行 ・急発進、急加速の厳禁	毎日	○	○
		・空気圧(1回/週) ・給油記録(毎回) ・走行記録(毎日)	適時	○	○
		・車内の整理・整頓(不要なカゴ等は車から降ろす)	1回/月	○	○
	南	・営業ルート、配送ルートの見直しで走行距離短縮	適時	○	○
	・商品管理課員と営業課員との連携で訪問の省力化を図る	適時	○	○	
廃棄物 (一般廃棄物) (産業廃棄物)	南	・複合機利用時の、集約、2画面印刷、A3両面袋綴じに加え週刊誌綴の活用推進による、紙使用量の更なる削減	毎日	○	○
		・廃棄処理の実施	2回/月	○	○
		・分別活動の実施と定着化推進	毎日	○	○
水の使用	亀田	従来どおり節水意識を徹底して現状維持に努める	適時	○	○
化学物質 (商品)	南	・化学物質に関する環境法規の遵守(消防法、毒劇物取締法)	毎日	○	○
化学物質 (船用製品)	坂口	・シップリサイクル条約に基づくMDの入手とSDoCの発行、確実なMD収集	適時	○	○
環境に優しい 商品の提案販売	仲原	・クルマクルマ大作戦キャンペーン実施(5月～8月)	1回/年	○	○
		・技術セミナーでの啓蒙、或いは環境に配慮した機器の販売	適時	○	○
生物多様性	野田 亀田	・会社敷地内の緑化管理(除草・剪定・施肥・消毒)	1回/月	○	○
		・会社敷地内の清掃と花壇の管理(灌水)	毎日	○	○
		・創業者故鯛瀬会長生家跡地(環境省名水百選)の水源除草清掃	1回/年	×	×
4S活動	亀田 南	・「庭清掃日」「窓拭き清掃日」を設定	1回/月	○	○
		・「身の回り、キャビネット整理整頓日」を設定	1回/月	○	○
		・倉庫内の整理・整頓・清掃・清潔の推進 カタログ等整理	1回/月	○	○

MD : Material Declaration

SDoC : Supplier's Declaration of Conformity

○・・・出来ている

×・・・出来ていない

※2024年9月24日付けで「熊本東支店」開設

5-2. 実績の項目別評価

5-2-1. 二酸化炭素排出量の削減

電気については、電灯のこまめな消灯やエアコンの温度設定の徹底、業務の早期終業にも注力したものの、新たに開設した熊本東支店の加算により使用料は大幅に増加しました。

ガソリン使用量については、営業人員の増加に伴い増加となりましたが、軽油使用量については本社と有明支店間の支店便を大幅に減便したことなどにより減少となりました。

5-2-2. 廃棄物のリサイクル向上

社員全員の分別意識の定着で、100%分別達成と評価しています。

区分	分類	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	前年比
リサイクル対象	燃えるゴミ	10,510Kg	10,625Kg	8,310Kg	10,750Kg	129%
	不燃ゴミ	503Kg	568Kg	484Kg	1,618Kg	334%
	文書溶解	620Kg	1,470Kg	Kg	360Kg	—
リサイクル対象外	廃プラ	1,787Kg	1,936Kg	629Kg	410Kg	65%
	木くず	1,340Kg	1,150Kg	1,590Kg	1,573Kg	99%
合計		14,760Kg	15,749Kg	11,013Kg	14,711Kg	134%

5-2-3. 水使用量の削減

節水の徹底や井戸水の利用を促進しましたが、熊本東支店開設に伴う解体工事や改修工事での使用量の増加、本社における植栽の植替への一時的な集中給水実施に伴い大きく増加しました。

5-2-4. 化学物質（商品）の管理

事業所としては化学物質の使用はありません。商品として化学物質を取り扱う為、環境法規（消防法、毒劇物取締法）の遵守と化学物質商品の破損や漏洩、過度な在庫防止を視野に入れ、整理、整頓に取り組みました。尚SDSも揃え、目標は達成できたと判断します。

5-2-5. 化学物質（船用製品）の管理

シップリサイクル条約の要求事項に沿い、供給者適合宣言(Supplier's Declaration of Conformity, 略称SDoC)を発行し、船用製品の部品又は原材料の有害物質情報である材料宣誓書(Material Declaration, 略称MD)を調達先から着実に入手し、有害物質情報を確認の上、販売先へ提供しました。

5-2-6. 環境に優しい商品の提案販売

当社の最重要テーマです。事業上も重要ですが、顧客にとっても生産活動を通してCO2削減ができ、更に省エネ、ローコスト化が実現できるテーマです。5～8月の4ヶ月にわたりクールクールキャンペーンを実施し、全社を挙げて推進しました。

5-2-7. 生物多様性の推進

2024年度は本社屋入口の植栽を植え替えるなど引き続き緑化に注力しました。これまで長年にわたり実施してきた会社敷地内の植栽、清掃については継続して実施し、社員の意識付けと自然との調和の維持に努めております。それと併せ建物内においても観葉植物を設置し世話をするなどし、引き続き生物多様性の推進に貢献できていると考えます。



5-2-8. 4S活動

環境経営の基礎となる活動です。
倉庫及び書庫の整理・整頓・清掃・清潔を実施。

6. 次年度の環境取り組み内容

6-1. 計画策定の考え方

6-1-1. 二酸化炭素排出量の削減

「働き方改革」もふまえ、効率的な業務運営の展開により営業時間を短縮し、電気使用量を削減します。
また、更なるエコドライブの浸透により、無駄な化石燃料の消費を抑えます。

6-1-2. 廃棄物のリサイクル向上

会議資料の電子化や商品課における梱包材の再利用などにより、紙使用量の削減を図ると共に、引き続き廃棄物を適切に管理してまいります。

6-1-3. 水使用量の削減

従来どおり節水意識を徹底するとともに、井戸水の活用により削減に努めます。

6-1-4. 化学物質（商品）の管理

事業所としては化学物質の使用はありません。商品として化学物質を取り扱う為、環境法規（消防法、毒劇物取締法）の遵守と化学物質商品の破損や漏洩、過度な在庫防止を視野に入れ、整理整頓に取り組みます。

6-1-5. 化学物質（船用製品）の管理

前期同様、シップリサイクル条約の要求事項に沿い、SDoCを発行し、調達先からMDを確実に入手し、有害物質情報を確認の上、販売先へ提供します。

6-1-6. 環境に優しい商品の提案販売

前期より更に消費電力を削減できる環境に優しい新商品を提案します。

6-1-7. 生物多様性の推進

これは当社が誇れる全社活動です。

会社敷地内の植栽、清掃を継続いたします。これにより社員の意識付けと自然との調和ができています。植栽を推進する事により、少しでも生物多様性の推進を維持、向上できれば考えます。

今後共、定期的な活動を実施すると共に生物多様性の幅と深さを検討してより貢献できる活動にしていきます。

近年実施できていませんが、熊本市西区西里の当社創業者・故鯛瀬良弼氏の生家跡地には、熊本市の熊本水遺産や環境省の名水百選に選ばれた金峰山湧水群のひとつに指定されている『五丁の妙見さん』として地域に親しまれている水源があり、除草清掃をとおした保護活動を継続実施します。

6-1-8. 4S活動

環境経営の基礎となる活動です。継続して行ってまいります。

6-2. 2025年度 環境活動計画

環境活動は、環境委員会議を実施して決定しました。(2025年2月1日)

項目	責任者	具体的な活動	活動頻度	評価		
				本社	熊本東	有明
省エネ (電気) (LPガス)	吉村 亀田 小野 吉富	・営業終了目標時刻の設定(19時45分)継続	毎日			
		・カーペット・カーペット着用でエアコンの設定温度を低めに設定28℃&20℃	毎日			
		・毎週水曜日 定時終業日(最遅18時30分)	1回/週			
		・エアコン・電灯をお昼休み始まり次第すぐに消す	毎日			
		・夏場、社屋全面へのよしずシート張りによる室温下げ	夏季			
		・営業担当者パソコンの出動時電源OFF	毎日			
省資源 (ガソリン) (軽油)	宮崎 南 亀田 吉富	・アトリングストップの励行 ・急発進、急加速の厳禁	毎日			
		・空気圧(1回/週) ・給油記録(毎回) ・走行記録(毎日)	適時			
		・車内の整理・整頓(不要なカゴ等は車から降ろす)	1回/月			
	南 野田道	・営業ルート、配送ルートの見直しで走行距離短縮	適時			
	・商品管理課員と営業課員との連携で訪問の省力化を図る	適時				
廃棄物 (一般廃棄物) (産業廃棄物)	南 野田道	・複合機利用時の、集約、2画面印刷、A3両面袋綴じに加え週刊誌綴の活用推進による、紙使用量の更なる削減	毎日			
		・廃棄処理の実施	2回/月			
		・分別活動の実施と定着化推進	毎日			
水の使用	吉村	節水の徹底と井戸水の活用で使用量の減少に努める	適時			
化学物質 (商品)	南 野田道	・化学物質に関する環境法規の遵守(消防法、毒劇物取締法)	毎日			
化学物質 (船用製品)	木原	・シップリサイクル条約に基づくMDの入手とSDoCの発行、確実なMD取集	適時			
環境に優しい 商品の提案販売	仲原	・カーブール大作戦キャンペーン実施(5月~8月)	1回/年			
		・技術センターでの啓蒙、或いは環境に配慮した機器の販売	適時			
生物多様性	野田英 吉村	・会社敷地内の緑化管理(除草・剪定・施肥・消毒)	適時			
		・会社敷地内の清掃と花壇、社内観葉植物の管理(灌水)	毎日			
		・創業者故郷瀬会長生家跡地(環境省名水百選)の水源除草清掃	1回/年			
4S活動	吉村 亀田 南	・「庭清掃日」「窓拭き清掃日」を設定	適時			
		・「身の回り、キャビネ整理整頓日」を設定	1回/月			
		・倉庫内の整理・整頓・清掃・清潔の推進 カタログ等整理	1回/月			

MD : Material Declaration SDoC : Supplier's Declaration of Conformity

7. 環境法規制の遵守状況

環境関連法規の遵守及び違反の有無

環境法規制の順守活動を行い、その結果、環境法規への違反はありません。

指摘、訴訟等の有無

環境法規制の遵守活動を通して、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

<環境法規制登録表>

作成者：吉村 二郎
承認者：高橋不二夫

作成日：2010年3月1日
遵守評価日：2025年2月1日

法規制等	適用内容	対象設備 施設	本社	熊本東	有明	届出	遵守事項 (法規制/自主規制)	頻度等	遵守 評価	コメント
廃棄物 処理法	産業廃棄物の 適切な管理	産業廃棄物	○	○	○	-	(法規制)			
							1.産業廃棄物置場の表示	設置時	○	
							2.マニフェスト伝票の管理	随時	○	
							3.委託契約書、処理業許可証の管理	1回/年	○	
							4.委託業者への適切な処理の委託	随時	○	
							5.管理表交付状況報告書の提出(熊本市役所)	毎年6月末まで	○	
(自主規制)										
1.分別、清掃の実施、飛散、漏洩の防止	1回/週(確認)	○								
家電リサイクル法 PCリサイクル法	特定家電PC類 の適切な廃棄	テレビ	○	○	○	-	(法規制)			
		家庭用エアコン								
		パソコン類								
自動車 リサイクル 法	公用車の 適切な廃棄	公用車	○	○	○	-	(法規制)			
							1.リサイクル料支払い(発生時のみ)	支払い時	○	該当なし
							2.廃棄時、適切な業者への依頼	廃棄時	○	該当なし
騒音規制法 (熊本県条 例騒音規 制)	大型エアコンの 騒音防止	大型エアコン 原動機： 2.25KW以上	○	○	○	○	1.特定施設設置(使用)届出(熊本市役所)	設置時	○	
							(自主規制)			
							1.異常音発生時の停止、修理	異常時	○	該当なし
フロン排 出 抑制法	大型エアコンの 適切な廃棄 (フロン使用)	第1種 特定製品	○	○	○	-	(法規制)			
							1.簡易点検の実施(本社6台、支店4台)	1回/3ヶ月	○	
							2.廃棄時、適切な業者への依頼	支払い時	○	該当なし
消防法	事務所、作業所 の消防整備	建屋	○	○	○	-	1.消火器の設置(本社8本、支店2本)	随時	○	
							2.非常口の確保	随時	○	
							3.火災発生時の安全な避難と119番通報	火災発生時	○	該当なし
(自主規制)										
1.定期的な火災に関する教育・訓練の実施	1回/年	○								
毒劇物 取締法	毒劇物の 適切な管理	対象商品 (第4類) 潤滑剤等 オイル類 アルコール類	○	○	○	-	(法規制)			
							1.譲渡書類(押印が重要)の保管管理	随時	○	該当なし
							2.一般販売登録票の保管	随時	○	該当なし
							指定数量の1/5未満での保管 / 直送	随時	○	
							アルコール類：80リットル以下	随時	○	
第2石油類：200リットル以下	随時	○								
第3石油類：400リットル以下	随時	○								
第4石油類：1200リットル以下	随時	○								
プラスチック 資源循 環法	プラスチックに 係る資源循環 の促進	廃棄物等	○	○	○	-	(法規制)			
							プラスチックを含む廃棄物の削減	随時	○	
							プラスチックを含む廃棄物の分別徹底	随時	○	
プラスチックを含む廃棄物の再利用化促進	随時	○								
シップリサイクル 条約	船用製品の 有害物質の管理	船用製品	○	○	○	-	造船所に販売する船用製品の部品または 原材料の有害化学物質の管理	随時	○	
熊本市 地下水 保全条 例	地下水の保全 (節水)	井戸	○	×	×	-	節水に努める (本社)	随時	○	
熊本県 地下水 保全条 例	地下水の保全 (節水)	井戸	○	×	○	-	節水に努める (有明支店)	随時	○	
浄化槽法	適切な浄化槽の 取扱	浄化槽	×	×	○	-	毎月点検 清掃年1回 法定検査	毎月 1回/年	○	
水銀に関 する水俣 条約	適切な 廃棄処理	蛍光灯	○	○	○	-	水銀使用製品の分別保管 水銀使用製品取扱産廃処理業者への廃 棄委託	随時	○	
※荒尾市 条例	ゴミ出し ルールの順守	ごみ 廃棄物	×	×	○	-	荒尾市指定の事業者用ごみ袋での廃棄	随時	○	
RoHS指令	対象物質の 適切な管理	対象商品	○	○	○	-	規制対象物質 鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化 ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル、フタル酸ビス ス、フタル酸ジブチル、フタル酸ジイソブチル	随時	○	

※「荒尾市廃棄物の処理及び清掃
並びにリサイクルに関する条例」

※最新化方法：エコアクション21プラザを参考にする。

2025年 4月 1日

最後に（代表者による評価と見直し）

米善機工株式会社
代表取締役 高橋不二夫

弊社の経営理念は「四方善し経営」を掲げ、お客様よし、社員よし、会社よし、地域社会よし、この四つのバランスのとれた経営を目指しております。

地域社会への取り組みとして、2010年12月にエコアクション21の認証を取得し、環境活動に取り組んでまいりました。また、2022年1月には、更に幅広い貢献活動を目指して、熊本県SDGs登録制度に登録しました。

2024年度の「取り組み体制」「環境経営方針」は従来どおりの体制、方針で取り組み、「環境経営目標」は前年比マイナス1%の目標設定としました。また、「環境経営活動計画」もほぼ従来どおりの計画としました。

2024年度は、9月24日に新たに熊本東支店（熊本市東区御領）を開業いたしました。そのため実績については目標と大きく乖離しております。ただし、営業及び配送ルートの見直しやエコドライブによるガソリン使用量の削減、本社と有明支店間の支店便の頻度を毎日から週1回に減便したことによるトラックの軽油使用量の削減、また電気使用量については、電灯のこまめな消灯やエアコンの温度設定の徹底、業務の早期終業の実施などによる削減効果は認められ、結果として二酸化炭素排出量は極力抑えられたと思っております。

環境活動への取り組みは、企業のコスト削減という面だけでなく、生産性向上や事業の持続可能性を高めるものです。弊社は環境活動を社内の取り組みに止まらず、お客様への省エネ提案を通してお客様に貢献できるよう、営業の取り組みを尚一層強化してまいります。

2025年度も「会社経営方針」と「環境経営方針」が一体となった「環境経営目標」「環境経営活動計画」を設定し、現状の「取り組み体制」によるPDCAサイクルを回したエコアクション21活動に取り組む、地域の皆様に愛される更なる地域密着企業を目指してまいります。

環境活動の紹介

1. 植栽、清掃作業（適宜手入れと清掃を実施）



←本社は屋窓際に植えられた木々
夏場は日よけとして活躍しています

本社玄関横の植栽です
季節の移り変わりを感じられます→



←本社敷地内にある井戸

植物への散水や洗車用として活用しています。
また有明支店においても同様に井戸水の活用を行っております。

2. 例年実施していた水資源の涵養活動は、コロナ禍以後一旦休止してはいますが、状況に応じ再開予定です。

(写真は、5年度前の実施風景です)

